

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立妻沼高等学校	Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校の置かれた状況や生徒の実態を把握し、今年度見直しが図られた。学校の目指すべき方向が簡潔かつ明確に示された魅力的な学校像となっており、概ね適切に設定されている。
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえ、中期的な視点から重点目標が設定されている。学校の取り組むべき課題が明確かつ具体的に示されているので、評価項目や方策等に一層具体的に落とし込むとともに、日々の教育活動の指針として生かしていくことが望まれる。
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	重点目標を踏まえて、分掌・学年等で取り組まれている。評価項目が年度達成目標としては分かりにくいものがあるので具体的にし、明確かつ重点化された目標となるように工夫していただきたい。
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	重点目標達成のため、分掌・学年のシートが作成されている。カルティベートタイムなど特色ある取組が意欲的に実施されているが、方策としてやや抽象的なものがあるので具体的なものとするとともに、方策の評価指標が、評価項目の達成度を決定する上で、より判断しやすい指標となるよう検討し、方策を計画的に実施することが望まれる。
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状や課題を踏まえた明確な学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深め、課題の解決に向けて、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	生徒・保護者対象のアンケートなどを実施し、学校自己評価のための情報が収集されている。学校関係者の意見やアンケートの結果等を分析・考察して達成状況や課題を把握し、方策の見直しを検討するなど積極的に活用し、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。
特記事項		